

【加盟団体紹介】

鎌倉市体育協会

会 長 山 口 宇 宙

鎌倉市体育協会は、昭和 28 年 10 月に設立され、今日に及んでおります。

当時、鎌倉では、スポーツを愛好する人達が、市民の健康維持のためと、11 の競技団体の関係者が、協会設立の声を挙げその機運が高まっておりました。丁度その頃、第 10 回国民体育大会が、神奈川県下各地で行われることとあいまった関係もあったと思います。

昭和 11 年の ベルリンオリンピック陸上競技の監督を務められた佐藤秀三郎先生が、鎌倉に在住されておられた関係もあり、鎌倉市役所職員をはじめ、当時 11 種目あった競技団体の関係者が、その普及・発展のため、佐藤秀三郎先生を会長に仰ぎ鎌倉体育協会（現・鎌倉市体育協会）が発足致しました。

鎌倉は、ご案内のとおり、中世武家社会を形成した古都、鎌倉幕府の跡であります。市域は約 40 平方キロメートル、人口約 17 万 4 千人が居住する谷戸に囲まれた複雑で狭小な地形です。従って広大な土地もなく、様々な法律に規制された特別な地域で、満足なグラウンドや体育館といった施設もなく、県下でも最も乏しいスポーツ環境にあります。

しかしながら、明治の頃より、鎌倉は古都の風情が残り、神社仏閣があり、気候温暖で風光明媚な歴史の町として、また海水浴が健康に適しているということもあり、由比ヶ浜や材木座に海水浴場が開設されると、当時の政界や財界の著名人が別荘を建てたり、会社の保養所が建設されるなど、観光や休養のために世に知られるようになりました。

そのような関係から鎌倉は、オリンピックや世界大会等に出場する選手の合宿所に選ばれ、トップアスリート達がやってくるようになり、市民のスポーツに対する関心はいやがうえにも高まってきました。そのようななかで、現在も行われている福岡朝日国際マラソンや高校駅伝も鎌倉で開催していたものですが、道路事情等のため中止せざるを得なくなり他都市へ移動してしまったことが残念でなりません。

鎌倉市体育協会の年間活動については、①加盟団体（現在 30 団体）の育成と助成並びに連絡調整を図る。②加盟団体の市民大会開催の促進 ③鎌倉市演武会等の鎌倉市からの受託事業の実施 ④各種スポーツ教室の開催 ⑤姉妹都市スポーツ交流の実施 ⑥スポーツ祭・ボウリング大会の開催 ⑦体育功労者・優秀選手・優秀団体の表彰 ⑧鎌倉出身（ゆかり）のトップアスリートとの交流会の開催等を行っております。



武道発祥の地・鎌倉！「鎌倉市演武会」

これからの鎌倉市体育協会の在り方については、前述のとおり極めて厳しいスポーツ環境の中で、市民の少子・高齢化に伴う病気や健康の問題、また 500 近くあるというニュースポーツに対する処し方、競技スポーツに対する育成発展など問題は山積みしており、それをどのように解決していけばよいか、困窮しているところであります。

そうした難問を解決する一つの方策として、鎌倉市議会に陳情し、総合グラウンド、総合体育館建設の必要性について懇請をしましたところ、その必要性が認められ、スポーツ施設建設基金が創設され、その一歩がやっと始まったばかりです。